

沼田市長
横山公一様

新型コロナウイルス感染症に係る医療・福祉及び 市民生活の安心確保対策の実施を求める緊急提言書

平素より、貴職及び執行部各位における市勢発展のための尽力に対し、心から敬意を表します。

さて、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大していく中、本国においてもこれまで感染防止対策及び経済対策等に努められているところであります。

本市においても、令和2年4月18日に本市在住者の感染が確認され、これは市内医療機関における県内感染者の受け入れにより感染が発生したのですが、利根沼田圏域内での医療体制への心配や、日常生活での不安も増大している状況です。

沼田市議会においては、市議会業務継続計画（BCP）に基づき、議会内での感染を防止するため、本会議における付託案件の審査等ではない不要不急の委員会等については、極力、開催を自粛する方針を決定しております。そのため、本提言書は、民生福祉常任委員会の正式な採決を経て決定したものではありませんが、全委員の意見が一致し、連名で提出することとしたものであり、貴職におかれては、このことをご汲み取りいただき、民生福祉常任委員会での機関意思の決定を経たものと同等の取り扱いを望みます。

市としても国・県と連携して感染症対策に取り組むことにより、感染者の増加による医療崩壊を防ぎ、あわせて市独自の施策を実施するなど、市民の安全・安心な生活の確保と、市民の不安の解消を図られるよう、下記のとおり提言するものであります。なお、既に実施、検討されている事項に関しては、執行部の迅速な対応に敬意を表するとともに、取り組みの一層の充実と市民への周知を望むものであります。

記

1 提言事項

(1) 医療体制の確保に関すること

ア 発熱外来、PCR検査の設置について

- ・ 県及び沼田利根医師会、広域圏市町村との連携による発熱外来の早期開設と市民への十分な広報周知を図ること。
- ・ 発熱外来施設付近で、ドライブスルー方式のPCR検査の早期の実施検討と実施を図られたい。

イ 軽症者及び濃厚接触者の一時隔離施設の設置について

- ・ 市内において軽症者及び濃厚接触者があった場合、自宅待機ではな

く、旅館・ホテル等の宿泊施設に入れるよう準備をしておく必要があると考えます。県と協議のうえ宿泊施設を借り上げるなどの検討をお願いします。

(2) 生活支援に関すること

ア 子育て世代等への生活支援について

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大への対策として、他市で行っているような保育園から小・中学生のいる世帯に現金支給などの支援対策の実施をお願いしたい。

(例) 昭和村では、保育園児、小中学生 1 人当たり 10,000 円の生活支援金と全世帯に使い捨てマスク 10 枚の給付。

神流町では、高校生以下の子ども 1 人当たり 10,000 円の町内で使える商品券を配布。

下仁田町では小・中学生 1 人当たり 10,000 円を給付。

- ・ 児童手当及び児童扶養手当などの支給にあわせて、市単独の支援助成を望みます。
- ・ 社会福祉協議会の生活資金貸付制度の「緊急小口資金」「総合支援資金」など特例貸付を、公金を投入し返還免除とすることを検討していただきたい。また、生活資金貸付制度などを市広報で市民へさらに周知を図っていただきたい。

イ マスク、消毒薬の確保と供給について

- ・ 市民の皆さんがマスクや消毒液が品不足で買えない現状なので、マスク券配布などの方法により市民に全戸配布できるよう望みます。

ウ 次亜塩素酸水の配布について

- ・ 次亜塩素酸水を配布することが決定しましたが、平日の昼間だけだと取りに来られない人もいるので休日の配布の検討もお願いします。
- ・ 次亜塩素酸水の広報方法について、ホットメールぬまと市ホームページだけではなく広報ぬまと、FM O Z E、広報車等の活用を検討していただきたい。

エ 市税及び国民健康保険税等の減免措置等について

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響から減収した市民や被保険者への減免や納期間猶予などの措置を講じられるよう望みます。

(3) 保育園・学童クラブ等に関すること

ア 保育園について

- ・ 医療従事者の子どもの登園を拒否した保育園があったと聞いた。担当部局と現場の保育園との連絡を密にし、さらなる意思疎通を深めていただきたい。

- ・ 私立保育連絡協議会が市長に提出した「臨時休園」要請発出の願いを受け入れ、医療現場で働いている人たちの子どもなどをどうしてもあずからなければならない場合を除いて、市が「臨時休園」を発表すること。
 - ・ 保育園のマスクが不足しており、職員は、勤務中に使用するマスクも自費で調達している。
 - ・ 子どもたちの排せつ物などを処理するときに使用する薄手のゴム手袋（バリアローブ）が不足している。
 - ・ 「登園自粛」要請により保育を行う園児数が減っているが、国は児童措置費については通常の交付をとしている。市の負担分も減らさないでいただきたい。
 - ・ 年々減らされている「施設運営費補助金」についても、このような状況下で減らさないでいただきたい。
 - ・ 国が行っている保育士の待遇改善のための「キャリアアップ研修」が、このような状況で中止になっている。研修を受けなければ、一人4万円の待遇改善が受けられないと思われるので、研修が実施されなくても、「待遇改善」が図られるように国に具申していただきたい。
- イ 学童クラブについて
- ・ 学童クラブについても、感染拡大になれば3密となるので必要に応じて休園措置を取られたい。
- ウ 社会福祉施設における現状の調査について
- ・ 保育園、学童クラブ、病院、介護施設、福祉施設の現状調査などにより現状把握を行い、問題解決への早急の対応をお願いしたい。
 - ・ 保育園、学童クラブなど、国の交付金が増額となっているが、過酷な状況が続いており、市単独費により、さらなる助成をお願いしたい。

(4) その他社会福祉対策に関すること

- ア 妊産婦対策について
- ・ 市内の産婦人科は、利根中央病院しかないので、妊産婦の不安を取り除くよう早急な対策を望みます。
- イ 高齢者対策について
- ・ 一人暮らしのお年寄りの状況把握に努め、安心な生活が維持できるよう対策を検討していただきたい。
- ウ 虐待及びDV等対策について
- ・ 経済の疲弊や外出自粛、学校休業の長期化などから、他部署からの人員を投入するなど、児童虐待、DV、ネグレクトに対する警戒を強化するほか、経済的支援についても検討していただきたい。

エ 人権啓発対策について

- ・ 陽性患者やその家族、また医療機関や従事職員などに対する差別や偏見の防止に強く取組んでいただきたい。

(5) 情報発信及び啓発に関すること

ア 市民への情報提供と発信力の強化について

- ・ 新型コロナウイルスの感染状況や健康維持のため、市民からは、県や市からの早い情報がほしいという意見が多い。また、市長からの危機感を持った強い情報発信（外出自粛等）が必要と考えます。

イ 窓口対応について






- ・ 市の電話相談は、5月6日までではなく様子を見て延長をしていただきたい。

ウ コミュニティ対応について

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の防止策として、地域の公民館などのコミュニティ施設の利用や会議の自粛など、各区長やコミュニティ施設管理者に対して、協力依頼をしていただきたい。

令和2年4月28日

沼田市議会議員
(民生福祉常任委員一同)

議 員	茂 木 清 七	
”	戸 部	
”	金 子 浩 隆	
”	山 宮 敏 夫	
”	井之川 博 幸	
”	星 野	